

RPPC メールマガジン 第 882 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 7 月 28 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

第 1 回 広報部会

日 時：7 月 30 日（金）14:00~

開催方法：WEB（Webex）・会場参加

場 所：みなと総合研究在団 3 階 会議室

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.浅輪港湾局長就任会見、防災・減災、CNP に力点

今月 1 日付けで就任した国土交通省の浅輪宇充港湾局長は 7 月 15 日、港湾・海事関係専門誌との記者会見を持ち局長就任の抱負とともに防災・減災施策、カーボンニュートラルポート（CNP）形成や洋上風力発電事業の発展に向けた取り組みに関して見解を述べた。

このうちCNPについては6月に立ち上げた検討会について、「年内には形成マニュアルを取りまとめる。CNPでは直ちに実行できることと、これからなお技術開発などが必要なことに分かれる。船舶への陸上電力供給の導入などについては比較的、実現の可能性が高い。まずはできることから次々に始めていく」と積極的な姿勢を明確にした。そのうえで「ターゲットイヤーを2030年、2050年とする長期的課題に向け、港の面的エリアでさまざまな関係者に実証や情報共有で参加いただき、その効果を港湾周辺地域へと展開していく」と述べた。

-----  
2.関東地整、横浜港・川崎港CNPで第1回形成推進会議開催

横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議の第1回会合が7月15日、横浜第二合同庁舎で開催された。事務局の関東地方整備局、横浜市、川崎市並びに構成員として横浜川崎国際港湾(株)、横浜港埠頭(株)、川崎臨港倉庫埠頭(株)が参加した。

CNP形成に向けた実務上の検討を行うため「モビリティWG」「燃料サプライ

チェーンWG」「新産業WG」の3つのWGを設置することを決めた。

開会にあたって石橋洋信関東地方整備局副局長は、「本年2月より3回にわたって検討会という形で議論を進めてきたが、今回からはCNPを具体的にどういった形で、どう目指していくのかについて、この形成推進会議の場で議論を進めて参りたい。横浜港・川崎港はエネルギー取扱い港としても重要な役割を担っており、CNPとしてのポテンシャルも十分にある。全国の見本となるようなチャレンジをしていきたい」と挨拶。各WGには、推進会議構成メンバーのほか、各テーマに応じた民間企業なども参画する。次回開催は9月頃を予定している。

---

### 3.国土交通省グリーン社会実現推進本部設置、全施策に脱炭素化組入れ

国土交通省は7月19日、国土交通省グリーン社会実現推進本部を立ち上げ、第1回会議を開催した。

会議ではチャレンジの今後の進め方について赤羽大臣は、2030年度46%排出削減目標の達成に向けて、「今後、国土交通省のすべての施策の基礎にカーボンニュートラルの考え方を置く」と明言。早急に取り組むべきこととして「令和4年度予算概算要求と税制改正要望にグリーンチャレンジの施策を最大限に盛り込む。そのうえで次期通常国会での法改正を含め、制度改正につなげる」と具体的な指標を述べた。

赤羽大臣はカーボンニュートラルについて「野心的で困難を伴うチャレンジ。欧米ではすでに選択肢としてではなく、もはや当然の前提として取り組んでいる。日本でも当たり前のこととして今後、取り組まなければ国際社会から取り残される恐れがある。国土交通グリーンチャレンジは2030年度に向けて国土交通省が取り組むべき重点プログラムとしてカーボンニュートラルポートの実現などを盛り込んだ。今後は大臣プロジェクトとして私自らが先頭に立ち、社会システムの変革を目指す」と決意を示した。

---

### 4.近畿地整、神戸港航路浚渫でWTO2件の手続

近畿地方整備局神戸港湾事務所は神戸港航路浚渫工事2件の発注手続きに入った。いずれも15億円以上30億円未満のWTO対応工事。別途、準備が進んでいる大阪湾岸道路西伸部の海上橋梁部基礎の工事着手には、神戸港新港航路等の切替が必要になる。このため今回手続き中の航路浚渫事業は、橋梁部着手に向けた最終の工程になる。神戸港湾事務所では同航路浚渫の完了を待って、橋梁部の橋脚基礎工事に入っていく予定。本工事の工期は令和4年7月末となっており、実質的に令和4年度予算か

ら橋梁基礎工事の手続きに入る見込み。

今回手続き中の2件の浚渫工事のうち1件は、神戸港航路（マイナス12m）及び航路（マイナス16m）の浚渫工及び土捨てを行うもので、合計浚渫土量は約21万立方m。また航路浚渫（その2）は、神戸港新港航路（マイナス12m）を確保するためのもので、第四防波堤、第五防波堤の撤去跡の土砂を浚渫して航路とするもので合計土量は約30万立方m。

※港湾空港タイムス7月26日号から編集

※新たに導入したPCとメーラーの環境では、添付ファイルが「\*\*\*.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: [rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////